

業界最高クラスの高変換率を誇る 太陽電池モジュール [マクサ]®

ガラスを使わないフレーム付き超軽量モジュール



WWBの太陽電池モジュール「Maxar【マクサ】(R)」は国際共通基準に基づいて開発、設計、製造および販売いたしております。これらの製品は、住宅用をはじめ、産業用案件、大型屋根設置や、メガソーラー大型太陽光発電プロジェクトなど幅広く利用されています。

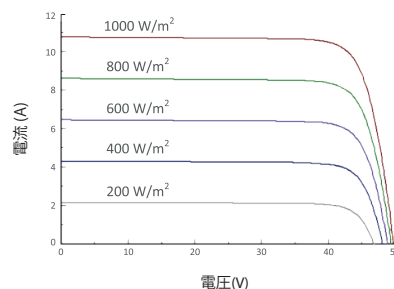
製品の品質を確保するために、当社は原材料の選択と生産工程の管理に十分な努力を重ね、太陽電池モジュールの安定性を保持、過酷な気候の中での耐久性を高めました。それと同時に、すべての太陽光発電モジュールは出荷の際に品質テストを再度行い品質を維持しております。

より安定、より高効率、より低コストの太陽電池のモジュールの提供は当社の目標です。

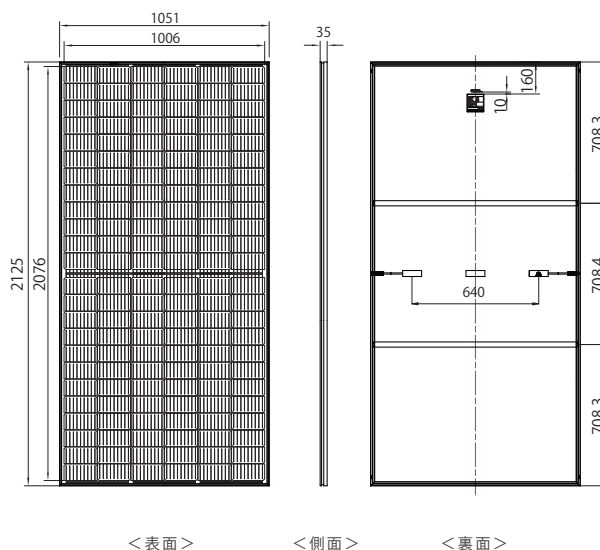
太陽電池モジュール仕様

型名	SMB430F-6X24DW
最大出力電力[Pmpp]	430
公称開放電圧[Voc]	49.8
公称短絡電流[Isc]	10.74
最大出力電圧[Vmpp]	42.0
最大出力電流[Impp]	10.24
実効変換率[JIS基準]	19.30%
最大システム電圧[V]	1000
電圧温度係数[Voc]	-0.28%/℃
電流温度係数[Isc]	+0.020%/℃
電力温度係数[Pm]	-0.38%/℃
ヒューズ容量[A]	20
セル	単結晶144枚(6×24/166mm×83mm)
ジャンクションボックス	IP68
ケーブル	長さ450mm、断面1×4mm ²
電池封止	EVA
バックシート	ソーラーモジュール用バックシート
フレーム	アルマイト処理アルミニウム合金
外形寸法	2125×1051×35mm
質量	11.2kg

IV特性データ



寸法図 単位: mm



最大出力

430w

※1

実効変換率
<JIS基準>

19.3%

※2

実効変換率
<J-PEC基準>

21.8%

※3

NEW SMB430F-6X24DW

※1 公称最大出力の数値は、JIS C8918で規定するAM1.5、放射照度1,000W/m²、モジュール温度25℃での値です。
 ※2 実効変換率[JIS基準](%) = 最大出力を太陽電池セル・モジュール前面積と放射照度との積で除した値。<JIS C8961基準>
 ※3 実効変換率[J-PEC基準](%) = モジュールの公称最大出力(W) ÷ {1セルの全面積(m²) × 1モジュールのセル数(個) × 放射照度(W/m²)} ※放射照度 = 1000W/m² <平成24年度、J-PEC基準>

製品特長

- モジュール変換率は、製造前の太陽光発電セルと比較しほぼ同じです。
- モジュールの許容量は+3%の低電力以内におさめております。
- バイパスダイオードを太陽電池モジュールに取り付け、ホットスポットによりモジュールの損傷を避けます。
- JIS C 8990 規定の機械荷重条件 正圧 2400Pa、負圧 2400Pa。
- 陽極酸化アルミニウム合金のフレームは強度が高く、厳しい自然条件に耐えられます。

品質保証

- 12年品質保証
- 25年間太陽発電モジュール出力保証

* モジュール変換効率は12年以内最小ピーク電力の90%、20年以内は83%、25年以内は80%以上を保証します。

●Maxar【マクサ】とは、max.(=maximum 最大) / mass(集まり) / exa(エクサ=10の18乗 T:テラの上の位)の掛け合わせた造語で、限りなく太陽光を集積し最大限の変換率を誇るという意味で表現しています。●Maxar【マクサ】は、WWB株式会社の登録商標です。